

## 「つるみ臨海フェスティバル」にて広報活動



パジェロに乗って? 「はいチーズ」



ブースに激励に訪れた募集相談員

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部 3 陸佐）は、10月15日（土）、横浜市鶴見区にある入船公園で開催された「つるみ臨海フェスティバル」において、広報ブースを設置し広報活動を行った。

自衛隊ブースでは、自衛隊小型車両（1/2 トラック）の展示やちびっこ迷彩服の試着などを行い、地域住民との交流を図った。特に、迷彩服試着コーナーには多くの親子連れが集まり、展示車両の前で記念撮影するなど、大いに賑わいを見せた。また、災害派遣活動パネルを見学した来場者からは、「大変ですね、頑張ってください」など、自衛隊の活動に対する慰労の言葉も多く聞かれた。

横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携した様々なイベントに参加し、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。

## 自衛隊記念日観閲式で行進する息子を観て思ったこと

陸上自衛隊高等工科学校 2 教 2 区隊 岡野貴晴の母 岡野理香子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）に、陸上自衛隊高等工科学校に昨年度入校した生徒の母親から手紙を頂いたので紹介する。

10月23日（日）、高等工科学校2教生徒である息子が行進する姿を観るために朝霞訓練場へ向かいました。観閲官（内閣総理大臣）臨場により式典が始まり、観閲官訓示が終わり、さあ、いよいよ我がが行進して行く順番になりました。第2大隊の先頭から8列目の手前から2番目。一瞬でしたが、観閲官の前を凜々しく行進する息子を発見しました。その姿から、まだ17歳という年齢でありながら親元を離れ、国防のため自衛官として自立し生きてゆく決意というようなものを感じとる一方、親としては複雑な心境で、寂しさで涙が溢れてきました。我が子を自衛隊に入隊させたことは、親として本当に良かったのかという自戒めいた心境です。しかし、これからは国民のため、私たち家族のため、自衛官となる我が子はこの上ない誇りであり、私の自慢するところであることも事実です。観閲行進での息子の勇姿を改めて目の当たりにし、ただただ寂しいという気持ちは捨てることができました。

息子へ一言、「心技体を鍛え、あなたの思う立派な自衛官になってください。これからも応援します」

## 「ちがさき消防防災フェスティバル」にて広報活動

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 鳥津准陸尉）は、10月23日（日）、茅ヶ崎市が主催した「ちがさき消防防災フェスティバル2016」において、広報ブースを設置し広報活動を実施した。

同フェスティバルは、市の防災啓発イベントとして、災害時に連携が必要となる各種関係機関による展示及び体験コーナーのほか、乗車体験エリアでは、消防車や救急車とともに、第4施設群の支援を受けて自衛隊車両（31/2tトラック）の体験試乗が行われた。自衛隊ブースでは、迷彩服試着コーナーに多くの子供たちが集まり、展示車両の荷台に乗り込んで写真撮影するなど、大いに盛り上がった。また、多くの来場者が災害派遣活動パネルや非常用糧食展示に見入るなど、市民の防災への関心の高さを確認することができた。

藤沢募集案内所長は、「今後も地域のイベントに積極的に参加し、地域住民との交流を通じて防衛基盤の拡充を図りたい」としている。